

2次元データコレクタ

Cyclops2

安全上の注意

ご使用の前に、本ユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

記載内容に関するご注意




- 本書では、本機をご使用になる上での基本的な取り扱い方法について説明しております。日常業務のためのキー操作方法、データ通信方法などは、設定ガイドをお読みください。
- 本書は誤記の無いように注意して編集しておりますが、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更することがあります。
- 本書の一部又は全部を無断で使用することはできません。

安全上の注意

本機は安全に十分考慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり大変危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

危害・損害の程度とその表示（必ずお読みください）

取り扱いを誤った場合に生じる危害や損害を、次のような記号を用いて安全上の表示しております。



	「死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示します。
	「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
	「障害を負う可能性又は物的損害の発生が想定される」内容を示します。

本体の取り扱い



- 本体の取扱いは、次の点を絶対に守ってください。故障や破裂、発火、爆発、火災等の重大な事故の原因となります。
 - ・強い衝撃を与えたり、落下させたり、ぶつけたり、投げたりしないでください。
 - ・高温になる場所(火のそば、炎天下の車内など)や引火性の物質が発生する場所では使用、放置をしないでください。
 - ・電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。
 - ・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - ・充電端子、USB 端子をショートさせないでください。
また、端子部を濡らさないようにしてください。
 - ・水などの液体をかけたりしないでください。また、水がかかる場所や湿気が多い場所では充電は行わないでください。
- 使用中・充電中に異臭・発熱に気が付いたら、直ちに使用を中止してください。

- スキャナ部から発光される赤色 LED 光をのぞきこまないでください。目に障害を与えるおそれがあります。目に入るような行為は絶対に避けてください。
- 落下等、外部からの衝撃により、変形や傷などの異常があった場合は、直ちに使用をやめてください。
- 長時間充電をして充電異常が表示された場合は、直ちに充電を中止してください。
- 磁気カードを本機の充電端子に近づけないでください。キャッシュカード・クレジットカード等の記録内容が消去される場合があります。
- 本機を分解、改造、修理しないでください。保証やサービスの対象外となります。

ACアダプター及び充電ケーブルの取り扱い

	<ul style="list-style-type: none">●AC アダプター及び充電ケーブルの取扱いは、次の点を絶対に守ってください。感電、断線、ショート、火災の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・濡れた手で電源プラグにさわらないでください。 ・電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ・ケーブルを AC アダプターに巻き付けしないでください。 ・破損したケーブルは使用しないでください。 ・ケーブルのつけ根部分を無理に折り曲げた状態や束ねた状態で使用しないでください。 ・屋外で使用しないでください。 ・AC アダプターを布などでくるましないでください。 ・AC アダプターのプラグについた埃は乾いた布で拭き取ってください。(トラッキング現象対策)
	<ul style="list-style-type: none">●長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜いてください。 ●AC アダプターは当社指定の物以外は使用しないでください。 ●AC アダプターは、他の製品には使用しないでください。使用した製品が破損するおそれがあります。破損した場合、当社は責任を負いかねます。

リチウムイオン充電機のリサイクル時の取り扱い

	<ul style="list-style-type: none">●充電機の取扱いは、次の点を絶対に守ってください。漏液、破裂、発火等、重大な事故の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・火の中に投下しないでください。 ・濡らさないでください。 ・充電機の端子にテープ等を貼って絶縁してください。 ・取出しが困難な場合は、販売元にご相談ください。 ●充電機内部の液体が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗い直ちに医師の診察を受けてください。
	<ul style="list-style-type: none">●充電機内部の液体が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。 ●充電機は当社指定の物以外は使用しないでください。

運用に関するご注意

- 本機は海外ではご使用になれません。(日本専用モデル)日本国内仕様となっており、海外の規格には準拠していません。海外で使用された不具合につきましては、当社はその責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障や修理・その他取り扱いによって、万が一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に係らず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

Bluetoothについて

- 本機が使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本機から移動体識別用構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか又は電波の発射を停止してください。

※本機は電波法に基づく技術基準認定済み無線装置を内蔵しています。

ご使用上の注意(必ずお守りください)

- 本機は次の環境で使用してください。範囲外で使用すると故障の原因となります。
 - 温度：動作時 -10℃～50℃ 充電時 5℃～35℃
 - 湿度：20%～85%（結露しないこと）
- スキャナ窓が傷つくとバーコードがうまく読み取れなくなります。
- 本機を取り扱いの際は次の点にご注意ください。けがや故障の原因となります。
 - ・運搬、移動時にはケーブルを外してください。
 - ・ケーブルは引っ張って取り外さず、必ずコネクタ部を持って外してください。
 - ・静電気に注意してください。
- 大切なデータは定期的にバックアップしてください。本機を使用する際、誤使用、落下や水濡れ等の故障又はバッテリーパックの寿命によるデータの消失や変化したことによる損害について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- お手入れにアルコールやシンナーあるいはベンジンなどの有機溶剤又は研磨剤を含む洗剤を使用しないでください。
- リサイクルの為にリチウムイオン充電機を取り出す場合は必ず電源をOFFにしてください。

本機の特長

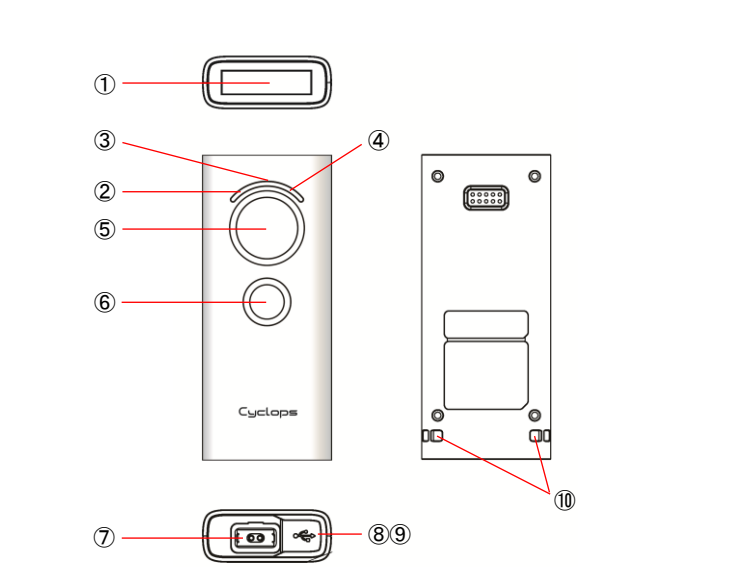
- 小型軽量で、携帯に便利で操作しやすい大きさです。
- スマートデバイスにマッチしたデザインを採用しています。
- CMOS イメージセンサーの採用により、液晶画面に表示されたバーコードを読むことができます。高分解能のため、4mil のバーコードが読めます。また、レーザースキャナに比べ、耐衝撃性があり高い信頼性を実現しました。
- 通常のバーコードに加え、反転バーコードにも対応しています。
- スキャンしたデータを Bluetooth によりワイヤレスで送信することができます。HID・SPP プロファイルに対応しており、SPP はマスター・スレーブの切り替えができます。
- 3種類の動作モードがあり、あらゆる場面で使用することができます。
- iOS 対応により、ソフトウェアキーボードの表示、非表示を切り替えることができます。
- 8000 件のデータを保存することができます。(2048byte 固定長。日時データ含)
- USB メモリ認識モード時、PC に USB 接続するとリムーバブルメディア(USB メモリ)として認識するため、保存したデータを容易に取り出すことができます。
- 時計機能を内蔵していますので、読み取った日時とデータが保存できます。
- 設定した 1 台から設定情報を容易に複製できます。
- ブザー音量は 4 段階(OFF 含む)の設定ができます。
- バイブレータ搭載により、スキャン結果がより分かりやすくなりました。
- 大容量バッテリーの採用により、満充電後約12ヶ月間待機(電源 OFF)状態を保てます。

同梱品の確認

お買い上げいただいた本機の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万が一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店までご連絡ください。

- データコレクタ本体
- AC アダプター
- 充電ケーブル
- 充電スタンド
- ハンドストラップ
- ユーザーズガイド(本書)

各部の名称と機能



名称	機能
①スキャナ	赤色 LED 光を照射しバーコードを読み取ります。
②バッテリー LED※1	バッテリー充電時の状態を表します。 <p>赤 点 灯：充電中</p> <p>緑 点 灯：充電完了</p> <p>遅い赤点滅：バッテリー低電圧</p> <p>早い赤点滅：充電異常</p>
③スキャン LED※1	バーコードを読み取った時の結果を表示します。 <p>緑点灯：読取成功</p> <p>赤点灯：読取失敗</p>
④通信 LED※1	Bluetooth の接続の状態を表示します。 <p>早い青点滅：未接続状態（ペアリング待ち状態）</p> <p>遅い青点滅：接続状態</p> <p>USB 通信の状態を表示します。</p> <p>青 点 灯：接続状態</p> <p>早い青点滅：データ転送中</p>
⑤スキャンキー	長押しで電源が入ります。バーコードの読み取りを行います。
⑥ファンクションキー※2	動作モードにより、様々な機能を実行します。初期状態では Bluetooth 切断時に再接続を行います。また、iPhone、iPad に接続して使用する場合、ソフトウェアキーボードの表示・非表示を切り替えることが可能です。
⑦充電端子	付属の充電ケーブルにて充電を行います。
⑧USB 端子	オプションの USB ケーブルにて USB 通信を行います。
⑨リセットボタン	本機をリセットします。
⑩ストラップホール	付属のハンドストラップを取り付けてご使用ください。

※1 各 LED の点灯・点滅についての詳細は設定ガイドをご覧ください

※2 ファンクションキーの機能についての詳細は設定ガイドをご覧ください

動作モード

本機には3つの動作モードがあります。用途にあわせご使用ください。

- リアルモード**
 - スキャン後、すぐに Bluetooth 通信にてデータ送信します。送信失敗時はエラー通知をします。
- バッチモード**
 - スキャン後、メモリに保存します。保存したデータは、以下の3つの方法で取り出すことができます。
 - ・PC に USB 接続しファイルとして取り出す。
 - ・Bluetooth SPP 通信にて専用アプリケーションでデータを取り出す。
 - ・Bluetooth HID 通信にてテキストファイル等にデータを取り出す。

- 3. ハイブリッドモード(SPP プロファイルでのみご使用できます)**
 スキャン後、Bluetooth 通信にてデータ送信します。(リアルモード動作)
 通信圏外の場合は、メモリに保存します。
 保存したデータは、Bluetooth が再接続されるとデータ登録順にすべて送信します。

本体の充電

本機はリチウムイオン充電電池を内蔵しております。
 出荷時は充電されていませんので、充電を行ってからお使いください。
 バッテリ低電圧表示が出た場合は、すぐに充電を行ってください。

- ※充電する場合は、必ず 5℃～35℃の環境下で充電を行ってください。
- ※充電ケーブルは必ず付属のケーブルをお使いください。
- USBケーブルでは充電できません。
- ※コネクタの向きに注意をして差し込んでください。

1. 充電方法

- AC アダプターの USB 端子に充電ケーブルを差し込みます。
- 充電ケーブルの反対側のコネクタを本機の充電端子に取り付けます。
- AC アダプターをコンセントに差し込みます。
- バッテリー LED が赤色に点灯し充電が始まります。
- 充電が完了すると、バッテリー LED が緑色に点灯します。

2. 充電時間

充電時間は、使用環境やリチウムイオン充電電池の劣化状態などに応じて異なります。

3. リチウムイオン充電電池の寿命

リチウムイオン充電電池の充電及び放電回数は 300 回を目安にしてください。
 使用状況により寿命期間は変動します。

<p>下記のような症状に気が付いた場合はすぐに使用を中止してください。 機器の故障や思わぬ事故につながります。</p> <ul style="list-style-type: none">・満充電しても使用時間が短くなったとき ・充電中、本体の温度が高くなったとき ・本体が変形して膨らんだとき
--

簡単な使用方法

1. 電源 ON

バイブレーションが振動するまでスキャンキーを長押しすると、スキャン LED が点灯し起動します。
 起動後、スキャン LED は消灯します。

2. Bluetooth 接続

任意のホストデバイスとペアリングを行ってください。
 ペアリング後、本機を起動した際、Bluetooth 接続ができなかった場合、又は、何らかの理由で Bluetooth 接続が切断した場合、ファンクションキー押下で再接続します。

3. バーコードの読み取り

スキャンキーを押して、赤色 LED 光をバーコードに当てます。
 バーコードの読み取りは、スキャン LED、ブザー音及びバイブレーションで確認できます。
 バーコードの種類やラベルの条件によって読み取れる距離が異なります。

4. リセット方法（設定情報及びメモリは保存されます）

電源 ON の状態でリセットボタンを押してください。(電源 OFF 状態になります)
 リセットボタンには針金のような細い棒状のものを差し込んで押してください。
 リセットは、異常な動作をした場合のみ行ってください。
 ※リセットを行っても各設定情報は保持されます。

5. 電源 OFF

使用しない状態が継続した場合、自動的に電源 OFF します。(初期値:10 分)
 スキャンキーを長押ししても電源 OFF にはなりません。

初期値(工場出荷状態)			
電源 OFF 時間	: 10 分	時計	: 未設定
動作モード	: リアルモード	プロファイル	: HID
認証	: 無し	暗号化	: 無し
PIN コード	: 0000	デバイス名	: Cyclops2+アドレス下 4 桁
※デバイス名は本体裏側に記載しています			

iPhone・iPad に接続して使用する場合

工場出荷状態の場合、ペアリングを行うことですぐにご使用になれます。
 また、ファンクションキーにより、ソフトウェアキーボードの表示・非表示を切り替えることができます。

<p>iPhone、iPad にてバーコード入力する場合、キーボード設定を English(US) に切り替えてください。 “日本語かな”又は”日本語ローマ字”の場合、改行がされない、異なる文字が入力される等の現象が発生します。</p>

設定の初期化

設定初期化のバーコードを読み取ることで設定の初期化ができます。
 ただし、日時及びメモリのデータはそのまま保持されます。
 メモリの初期化は別途行ってください。


--

※「反転バーコードのみ」を設定されている場合、先に下記バーコードを読み取ってから、上記「設定の初期化」バーコードを読み取ってください。


--

※初期化用バーコードは、本機背面の裏蓋に貼られています。

メモリの初期化

メモリ初期化の設定バーコードを読み取ることでメモリに保存されているデータを初期化(消去)します。
 データの復活はできませんのでご注意ください。


--

※初期化用バーコードは、本機背面の裏蓋に貼られています。

工場出荷状態に戻す場合

工場出荷状態に戻す場合は、上記「設定の初期化」及び「メモリの初期化」を行ってください。

Bluetooth ペアリング情報の変更

一度ペアリングを行うと、その接続情報を記録します。
 複数のペアリング情報を記録することはできません。
 そのため、別の機器に接続する場合は、再度ペアリングを行ってください。

詳しい設定方法

弊社ホームページに詳しい設定方法を記載した「設定ガイド」を掲載しております。設定ガイドをダウンロードしていただき、よくお読みになってから設定を行ってください。

http://www.alf-net.co.jp/products/data-collector/cyclops2-alfark-5200x/

本機は PC などの液晶画面に表示したバーコードを読み取ることができますので、設定ガイドを印刷せずに設定を行うことができます。
 (液晶画面の光の反射やバーコードの大きさによっては読み取れない場合があります)

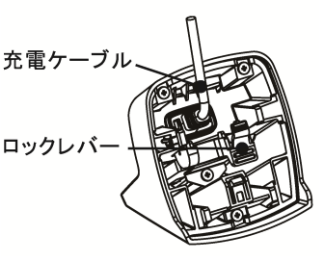
設定情報の複製

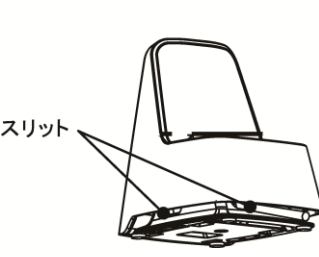
設定した 1 台から設定情報を容易に複製できます。
 複数の本機に同じ設定をする場合、ミスなく早く設定できます。
 設定情報複製の詳細については設定ガイドをご覧ください。

充電スタンド

本機には充電スタンドが同梱されています。
 充電スタンドで充電を行う場合は、充電ケーブルを装着させる必要があります。
 充電ケーブルの装着方法は下記をご覧ください。

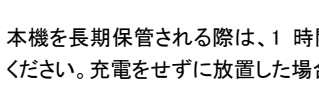
	<p>1)充電スタンド下面の固定爪を押し込み、裏蓋を矢印の方向へスライドさせて取り外します。</p>
---	--

	<p>2)ロックレバーを手前に倒します。 充電ケーブルの向きに注意し、ケーブル差込口にしっかりと奥まで挿してください。 ※充電ケーブルを逆向きにした場合、奥まで挿せません。ケーブル差込口と充電ケーブルの凹凸を合わせ差し込んでください。</p>
---	---

	<p>3)充電ケーブルは、手前・左右の 3 方向から出すことができます。 使いやすい方向をお選びください。 充電ケーブルをご希望の方向に曲げて裏蓋のスリットに合わせ、外したときと逆方向に裏蓋をスライドさせて固定爪でロックしてください。</p>
--	---

本機の長期保管について

本機の保管は、温度と湿度をお守りいただき、結露のないところで保管してください。

	<p>本機を長期保管される際は、1 時間～1 時間半程度の充電を定期的に行ってください。充電をせずに放置した場合、バッテリーが過放電状態となり劣化します。</p>
---	---

また、バッチモードで時計機能を使用されている場合、バッテリーの放電により時計がリセットされます。
 ご使用される際は充電後に日時設定を行ってください。
 日時の設定方法は、設定ガイドをご覧ください。

本機の廃棄時の取り扱いについて

本機はリチウムイオン充電電池を使用しています。
 リチウムイオン充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
 弊社にお送りいただければ弊社にて分解リサイクル処理をいたします。
 本機をご自分で廃棄する場合は、分解してリチウムイオン充電電池を取り外し、販売店又は充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
 リサイクルにご協力をお願いいたします。

※リサイクル時の注意

バッテリーパックの金属部にテープ等を貼って絶縁してください。

アクセサリ

- USB ケーブル ALF-Micro-USB-1W
PC との USB 通信に使用するケーブルです。
- 充電ケーブル ALF-MC-USB-1W
充電に使用するケーブルです。

主な仕様

型式	ALFARK-5200X
CPU	32bit CPU
メモリ	約 8000 件(2048Byte 固定長。日時データ含)
LED	スキャン LED(緑、赤) バッテリ LED(緑、赤) 通信 LED(青)
キーボード	スキャンキー ファンクションキー
スキャナ	CMOSイメージャ(2次元) 分解能 4mil(Code39)/5mil(PDF417) 1次元コード UPC-A、UPC-A Add-on、UPC-E、UPC-E Add-on、JAN/EAN-13、JAN/EAN-13 Add-on、JAN/EAN-8、JAN/EAN-8 Add-on、Code128、Code39、ITF (Interleaved 2 of 5)、NW-7(CodaBar)、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked 2次元コード QR Code、Micro QR、PDF417、MicroPDF417、EAN/UCC Composite(CC-A/B/C,TLC39)、GS1 DataBar Composite(CC-A/B/C,TLC39)、Postal Codes、Aztec、Data Matrix、MaxiCode
Bluetooth	通信規格 Ver.2.1+EDR Class2(10m) プロファイル SPP マスター/スレーブ HID

USB クライアント	USB2.0 Full Speed
ブザー	音量 4 段階(OFF 含)
バイブレーション	有
時計機能	有(バッチモード時のみ使用可能)
電源	リチウムイオン充電電池(交換不可) 充電時間 約 2.5 時間
動作環境	温度 -10～50℃ (但し充電時は 5～35℃) 湿度 20～85% (結露がなきこと)
保存環境	温度 -25～60℃ 湿度 5～95% (結露がなきこと)
保護等級	IP54(防塵・防沫)
落下強度	1.5m コンクリート※1 1.0m タンブルドロップ※2
取得規格	VCCI Class B TELEC
外形寸法	38(W)mm×90(H)mm×15.9(D)mm
重量	約 67g
AC アダプター	入力 100～240VAC 50/60Hz 出力 DC5V/1A

※1 6 面各 3 回コンクリート面に落下。当社規定による試験値であり保証値ではありません

※2 直径 1m のドラム内で 200 回の回転落下

商標について

- Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標です。
- iPhone、iPad及びiOSは、Apple Inc.の登録商標です。
- その他、本書に掲載の会社名、商品名は各社の商標また登録商標です。

<p>株式会社アルフ 〒155-0032 東京都世田谷区代沢 3-6-11 TEL:03-5432-7170 FAX:03-5432-7172 ホームページ http://www.alf-net.co.jp/</p>
